No. 114

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL1492

千曲会報

昭和36年9月1日

編集兼発行人 小林尚一
発行所 社団法人千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野6243・東京43341
電話上田1215(代表)1218(直通)

製糸工程の統計的管理に関する研究

農林省蚕糸試験場 嶋崎昭典

製糸工程管理法は変動する工程を的確に管理して目的生産を達成する工程運営技術の中心的役割を果たすものでなくてはならない。W. A. Shewhart が創設した統計的品質管理法は上述の管理技術を確立するための一つのよりどころを与えるものと考えられ，戦後いちはやく製糸工程にもその導入が試みられてきた。しかし，機械化された大量生産の場を前提に設定されている Shewhart の管理法をそのまま製糸の生産の場に適用したのでは，当然のことながら，多くの矛盾が生じ，製糸工務の要望する諸問題を本質的に解決することは困難であった。そこで筆者は製糸工程の特殊性を解析し製糸に適する統計的管理法を新たに設定するための研究をすすめた。その結果，製糸の工程管理法は原料繭特性が製糸法ならびに生産工程における変動要因の影響をうけて生糸品質，生糸収率，繰糸能率等を規制する過程の確率過程論的な構造を明確にし，繰糸中にみられる1，2の現象変化から繰糸されつつある生糸の品質，工程変化原料繭荷口特性の変化等を的確に推測して直ちに所期の状態へ工程を移行させる，いわゆるサーボ機構の役割を果たすものでなくてはならないとの結論に達しこれを具現するための研究をすすめた。研究の過程で，定粒繰糸工程を本質的に制御できる要因は解じょ糸長の分布特性であること，生糸品質を制御できる要因は粒付調整間隔の分布特性であること等が明らかになってきた。これらの結果にもとずき，これら二つの要因を管理標識にして工程管理法の設定を試みた。その結果，生産指針により決定される解じょ糸長分布から定粒繰糸工程中時間的に出現する落繭の出現状態の規定されるしくみが明らかになり，落繭の規準生起指標が生産に入るまえの試験繰糸の段階で決定できるようになった。これより管理者はその指標を目印しにして生産工程中の落繭の出現性が規準状態にあるよう工程を運営管理すれば繰糸能率と生糸量歩合とを所期の状態に保持することを可能にする工程管理方式が設定された。またこの管理方式の行なわれているもとでは，繰糸者が定粒保持のために行なう粒付調整間隔の分布特性に注目することによって生産されつつある生糸の糸条斑特性が迅速的確に推測されることが明らかになった。これより，繰糸段取り中の粒付調整間隔を管理することによって繰糸工程を円滑に運営しつつ生糸の糸条斑特性を所期の状態に管理する工程管理法が設定された。原料繭の繊度特性が製糸工程を経て生糸の繊度特性を形成する過程の確率論的構造もまた明らかにされ，さらに生糸の繊度管理により生糸の強力，伸度，練糸繊度，練減率，練糸の強力，伸度が管理される模様が明らかにされた。しかし定粒繰糸法においては，繭糸繊度曲線に由来する生糸繊度特性の本質的変動の管理は困難であることが知られた。これらの結果，前述の二つの工程管理法がこの繰糸法の特徴を生かして生産工程を適正に運営管理する主体的工程管理法であることを明らかにした。これら管理法の理論的な面について簡単にのべると次のようである。



1，不時落繭歩合と生糸収率との関係

製糸処理条件の変化に伴う生糸量歩合，屑物量歩合，練糸量歩合，練減率，対1粒落繭歩合等のそれら相互の関連性を統計的実験計画法により総合的に解析し対1粒落繭歩合と生糸量歩合との間の関連性を明らかにした。

2，原料繭の落繭特性

解じょのよい原料繭荷口においては，1粒の繭に k 回落繭のおきる確率はポアソン分布

$$P(\lambda, k) = \frac{\lambda^k}{k!} e^{-\lambda}, \quad \lambda \text{ 対1粒落繭回数}$$

により示される。解じょ不良荷口，合併荷口等において，1粒の繭に k 回落繭する確率は，一般ポアソン分布

$$P(k, \lambda, \beta) = \frac{1}{k!}\lambda(\lambda+\beta)(\lambda+2\beta)\cdots(\lambda+(k-1)\beta)e^{-\lambda}$$
$$\beta = \sigma^2 - 1 \qquad \sigma^2 \text{ 落繭分布の分散}$$

によって示される。原料繭荷口により繭層別落繭の出現分布はU，L，J型の3種がある。これら二つの分布特性の結果として解じょ糸長分布は一つの指数分布と二つの正規分布との和の分布としてあらわされ，一般の寿命分布に近似した形を示す。

3，原料繭の落繭特性と繰糸中時間的に出現する落繭の出現性との関係

解じょ糸長分布を $f(x)$，繰糸中に生ずる落繭の単位調査間隔を τ とするとき

$$\int_0^{\tau} f(x)dx = P_1, \quad \int_{z\tau}^{\tau} f(x)dx = P_2, \cdots; \quad P_{2m} = 0$$
$$(m = 0, 1, 2, \cdots), \quad P_0 = 1, \quad P_\nu = \sum_{i=1}^{m} P_i P_{m-\nu}, \quad P = \frac{1}{\sum \nu P_\nu}$$

とおくと，K粒付繰糸N錘，1台の繰糸機において τ なる長さに生ずる落繭の平均値 μ，分散 σ^2 は

$\mu = KNP$, $\sigma^2 = KNP$, $(1-P)$，

$k\tau$ 区間に生ずる平均粒数と分散 μ_k，σ_k^2 は

$$\mu_k = (KN)_k P$$
$$\sigma_k^2 = KNP(1-P)\left\{k + 2\sum_{i=1}^{k-1}(k-i)\frac{P_i - P}{1-P}\right\}$$

すなわち落繭管理に必要な管理基準指標 μ_k，σ_k^2 は解じょ糸長分布から上式により算出できる。

4，粒付調整間隔と糸条斑特性

粒付調整間隔の分布を $f(\tau)$ とおくとき，1回の落繭により生じる糸斑の長さXの確率密度分布 (X) は

$$\phi(X) = 1 - \int_0^X f(\tau)d\tau \Big/ \int_0^\infty \tau f(\tau)d\tau$$

これより落ち斑の平均長さE（X）分散V（X）は

$$E(X)=\frac{\mu_2}{\mu_1},\quad V(X)=\frac{\mu_3}{\mu_1}-\frac{1}{n}\left(\frac{\mu_2}{\mu_1}\right)^2,\quad \mu_m=\int_0^\infty \tau^m f(\tau)\,d\tau$$

またK粒付繰糸のときS粒欠粒する確率は近似的に

$$P_{rob}\left\{S_n^K=S\right\}={}_KC_S\,P^S(1-P)^{K-S}$$

またf（τ）は工場調査の結果P－分布

$$f(\tau)=\frac{1}{\alpha!\beta^{\alpha+1}}\tau^\alpha e^{-\frac{\tau}{\beta}},\quad E(\tau)=\beta(\alpha+1),\quad V(\tau)=\beta^2(\alpha+1)$$

に従うことが確かめられた。

5，繭糸繊度特性と生糸の繊度特性との関係

繭糸平均繊度，繊度偏差を δ，σ 粒付数をK，生糸の平均繊度，繊度偏差を△，σ（△），K本の生糸を構成するう。

ちの繭糸繊度 δ_i，δ_j，の相関係数を ρ_{ij} とおくと，

$$\Delta=K\delta,\quad 0\leq\sigma(\Delta)=\sigma\sqrt{K+2\Sigma_{i<j}\rho_{ij}}\leq K\sigma$$

ここに ρ_{ij} は厚皮、薄皮繭の混合比を数量的にあらわす。$\sigma(\Delta)$ は検査糸長により変化し，hlなる長さの繊度偏差を $\sigma hl(\Delta)$ をとすれば

$$(h=1,\ 2,\ 3\ \cdots\cdots)$$

$$\sigma_{hl}(\Delta)=\frac{\sigma_l(\Delta)}{h}\sqrt{h+2\sum_{i=1}^{h-1}(h-i)\rho_i}$$

ただし ρi は自己相関係数である。これらの結果，三つの管理標識に関する原料繭→製糸工程→生産目標間の構造が明らかになり，ここに工程管理法の理論的基礎を確立することができた。

武 道 の 真 髄

石 倉 新 十 郎

素人の私が武道の真髄を語るのは世の哺い話しに過ぎないようであるが，老人になって過去の経験を通観すると初めてこれだと合点する所である。この頃オリンピック競技に柔道が加えられたと聞き，笑い草でも会員の好奇心に投ずるかも知れないし，また私としては墓死と共に消滅させるのは天命に反くと思われるので勇敢に記述することとした。

要言すれば，武道とは弱者が強者を斃す術を会得し，人と争はず平和を望む道である。武術は剣術でも柔術でも術の奥義は同様であって，人が相手を斃そうとすればそれが直に逆に自ら斃される姿勢に陥るのである。武術の経験ある人で有段者位ならすぐ解るはずであるが，一般人は少年牛若丸が強剛な弁慶を降伏させ熊坂を斃したので判断すべきであろう。これは武術の外観であって，武道を示したのは塚原卜伝であり，世にこれを説いたのは加納治五郎師範である。武術の達人は古来無数であるが，武道を会得した人は塚原加納の二人だけであって，武道は武術から出てこれを超越し平和を目指す人道である。

先ず武術の真髄から説明しよう。弱者とはどんな人か男に対して女であり，大人より少年であり，少年より幼児である。幼児は天然の態度にあって無防備のようであるが危険を自覚すると胎児の姿態になる。即ち四肢を曲げて身に引き固め首を折り縮めて身を丸くし，拳は親指を中に丸く握り固めるのである。これで体内の大切部は保護される最良の姿態であり，同時に相手に対抗するに最も有利な姿勢である。子犬子猫などが他に襲われた時現す姿勢だから誰も認める所であろう。大人も危険に直面したら即座にこの姿勢をとれば安全であるが，誰しも転ぶのを嫌い手足を徒らに突張って不測の負傷をするのである。この自然の姿態に対しては相手の攻撃心は弱まり，犬猫では喧嘩が消えるが，人同士でなお攻撃に出るとすれば，弓や銃のない限り近ずいて攻撃姿態になる。それがどんな体形であっても弱者の安全姿態からは反抗一撃で相手を斃しうるようになっているのである。これが柔術の基本であって，これから立ち業其の他に進展するのである。柔道での業には相手を斃す術は全々秘して安全な業だけを公開しているので，一般スポーツと同様に強い者が勝つことになっているのである。

剣術の基本要点はこれと同様で防衛姿勢が原根であり，其れを変えて攻撃姿態に移れば，直に敵れる姿勢に転じているのである。素人の私がどうしてこんな理解を獲得したか不審に思うだろうから其の次第を要説しよう。

私は中学の頃剣術を経験し上田の学校職員となって少しばかり飯塚師範に習っただけである。その頃加納師範が来校され校長室で針塚岩崎両氏と私の三人が師範を囲んで話したことがあった。針塚校長が昔は柔術と言い今は柔道と言いますがなぜ術が道に変ったのでしょうと聞いたら，それは私が名ずけたので，弘道館で言い始めたのです。道とは道徳の道の意味で，武道とは神心最善使用道であります。その善とは道徳の善の意です。聞いて意外の感であった。校長が次いで，今弘道館の有段者は全国で何万人でしょうが，そうした意味を理解している人は何人位ありますかと尋ねると，沈思黙考返事がない。稍暫くしてまあ三人かなあに驚いた。それから学校道場に行って古式の型を示されたが之れも想像外のものであった。それから数年たった飯塚師範も60歳を過ぎた頃私から，もうお年で稽古はご苦労でしょう。お弟子には高段者の血気盛りも居るでしょうが，今でも道場にお立ちですかと聞いたら，笑いながら昔の支那人が日に新たに日々に新たと言ったが，あれは真実ですね。私も年で力が落ち弱くはなったが稽古を附けていると次々に新しい業がみつかり５６段の連中でもらくに投げられますよであった。そこで曾て加納師範が真目して３人かなあの中の一人は飯塚師範だと推定したのである。

私も今老年になって体力が著しく衰えた上に脳軟化症で不随の身となり，ここ数年の経験を省みると，幾度か転倒したがけがもなく，野犬に出逢いまた交通の烈しい道路を横断したり，駅で階段の昇降りで何度となく失態をでかしても，いつも災害を免れたのである。かように安全が得られると自信するようになって見ると強盗に侵入されても争う気が起らず，反って親しみが湧き，われながら妙な感じである。日本は民主国となり折角武力放棄とまでなったのに，自衛の名のもとに段々武備を調え以前の軍国に復帰しようとする外交政策の連続を見たら，塚原卜伝や加納治五郎師範は腹をかかえて笑うであろう。今の日本の政治家も国民のほとんどが挙げて武道の真髄がどうなのか，武力なしで安心できる途が見出せないらしい。千曲会々員諸君日本の民主国外交政策を考えてみて下さいませんか。（旧職員）

斎藤先生に記念品贈呈

去る8月2日に，昨年御退官された斎藤実先生に退官記念品が贈呈された。

同先生退官記念資金募金会代表であった山口定次郎先生，町田博先生（小泉清明学部長，武田兵助氏の両代表は欠）及び募金事務を担当した田中茂光氏，柳沢幸男氏の4名が先生の御自宅に同行して同窓生有志から拠出された芳志（先月号報告）をテレビその他として贈呈した。尚この際繊維農学科（旧養蚕学科）教官一同から肖像写真が贈られた。



前例にならえば，先生を母校に御迎えして有志立会で礼々しく贈呈するところであるが歩行，言語の御不自由な先生には喜ばれざる挙であろうと思われたし，暑い時期でもあり休暇で不在教官も多いこと等のことから代表が御宅え参上贈呈の形式となったものである。

先生の病状は手足の御不自由程度は変りなく，テレビをみられるのと散歩を楽しむのが御日常のようで，御家庭には奥様の他，八十二銀行上田支店勤務及び中学3年のお嬢さん2人，小学4年の御子息さんがおられる。御長男は昨年東北大学理学部を卒業して宮城県小牛田高校勤務，御次男は東北大学経済学部1年在学である。

会員近況

福島，新潟を廻って

町田　博

意外な病気につかれて半年を過ごたし暑い時は寒い時より心配はあるまいと思って，7月24日この旅行に出た。

例年のことながら学外実習先に御挨拶をし，かたがた卒業生に会ってその職場の様子及びそれぞれの業界の情勢を見聞きして教育補導上の参考とすることが用務であった。帰途新潟県を廻ったのは千曲会からの連絡用件があったからである

福島だから飯坂温泉に泊りたいと思って共済組合宿泊所に申込んでおいて，東京に出て2～3人と会ってから急行列車に乗った。福島駅には藤森朋美氏，西沢正一氏，中村甲子男氏及び学生阿部君が迎えてくれたのには恐縮した。実習先えは翌日訪問する予定だったので直ちにレストランに案内された。そこで東北随一の蚕糸県である県下業界の情勢や，それぞれに活躍する卒業生の動静をうかがうことができた。

繁華街を案内されてから20年程前に来たことのある飲坂温泉の宿に落ついた。西沢氏と湯につかったら疲れが出て寝ることにせかれ温泉風情に接する間もなかったのは残念だった。

翌日は市の中心にある蚕糸会館に竹内万二郎氏を訪ねた。同氏は病後の寄身に仲々の気魄を貯え，後輩の面倒をよくみて下さることに敬意を表し県庁え案内して頂いた。

蚕糸課に挨拶に出たが，当学部卒業生が1人も居らないので何かそぐわない気持だった。

蚕糸関係は学閥が激しいと云われるのは全くだと感じられる。このような人事的偏向は勤労意慾や事務能率にどんな影響を生じ，社会生活上いささか好ましくないことであることは一般識者の知るところであり，管理職にある者の心すべきところであろう。兎角お役人関係では学閥的偏向が強いようであるが，蚕糸関係で特にその点が目立つように思えてならない。

用務を終って会津若松市に西田正氏を訪ねたのは夕方近かった。街は観光客で賑わっていたが，派手な都市ではなかった。同氏は蚕試原町支場でよく試験研究業績をあげたが，一寸したことで会津に転ぜられた，今は実に不遇である。同氏はそれを諦めているが，私は同情せずにはいられなかった。

なお同氏の話された苦衷の中に，私の納得のいかない点があった。それは同氏が暗黙のうちに試験研究を止められているということであった。試験研究職に在る者がその任務遂行を禁じられる，そんな矛盾したことがあってよいものだろうか，社会条理にもとること甚だしいものだ。これは正当な人事管理でないのみならず，人権侵害にもなるケースではなかろうか。同氏は黙々としてそれに耐えようとしているが，私は義憤を禁じ得なかった。そしてこのような問題はどんなところえ解決の道を求めたらよいか分らないが，人権擁護委員会とか苦情処理委員会とか職員組合とかへ提訴してみたらどんなものだろうと思った。

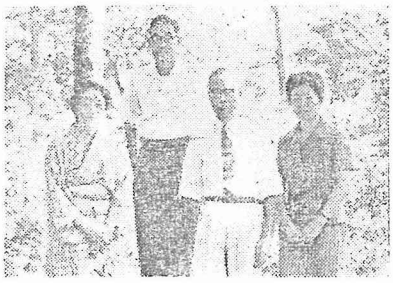
某県職員組合では課長以上の所謂管理職に存る者を組合員が逆に勤務評定あるいは職責評価をするそうであるが，これは偏向上司に対しては職場のよい清涼剤であらう。

折角の機会なので，観光バスで有名な飯盛山から猪苗代湖磐梯高原を観光した白虎隊記念館と野口英世記念館では説明を聞いて大いに感動を受けた。西田氏に元気づけて別れ新津に向う。空いた気動車で快適だった。

新津では秋山利夫氏が出迎えてくれた同氏と昔話に花を咲せて御世話になり翌日市村志真エ氏を同氏とともに訪ね，支会強化や活動の積極化について話合をしたが，秋山支会長の献身的な努力には敬服するのほかなく，地区別に幹事を設けて事務分担をするならば同支会の活動成績の向上は期待できると思われた。

新潟県え出向いたのは何年振りだろう三度目の遠藤先生訪問を企図していたので，秋山氏とそれに，上田からその日の朝20年振りに会いたいと云って出て来た小山よし子氏と三人で御訪ねした。

あいにく先生は所用で長岡市街え出られて不在，奥さんとよもやまの話をして待つこと2時間，やっと御帰宅になった時は私共の辞退時間近かだったので，10分位しかお話できなかったのは返す返すも残念だった。予め御連絡しておくべきだったと悔いられた。



先生は理髪をして来られたせいもあってか74才とは見られないお若いいでたちで至極御元気，久方振りにお会いした私共を喜ばせた。先生は花作りを楽しんでおられると聞いてはいたが拝見する時間はなかった。また先生は写真をとられることがお嫌いだと聞いていたが，私が所望すると応じて下さって自ら御庭の中に出て場所を選んで下さった。仕舞できこえの高いと云われる奥さんも入って頂いて嬉しかった。先生御在職中はよく御宅え御邪魔して御家庭の温情に接したものだったが20年後の今日全く変りない情趣に浸ることが出来て懐しかった。

この旅行から帰って間もなく集中豪雨で長岡市の被害が報導されたが先生宅が無事であるよう祈っている。

（写真は左から遠藤先生奥さん，秋山利夫氏，先生，小山よし子氏である。）

宮田鉄五郎君の死を想ふ

大蒈政平

昭和35年11日22日午后6時宮田鉄五郎君（糸2）は膵臓炎にて急逝せられた。先日静岡県下に於ける1回2回3回卒業の老骨共の同窓会を開いた席上，談たまたま宮田君の事に及んだが誰一人其の死を知って居る者がなかった。千曲時報には毎号会員移動が載って居るが死亡異動は除外されて居るので，これでは遺族から通知を受けた数人の外は知る由もないわけだ。そこで後れ走せ乍ら茲に筆を執った次第である。

昨秋の母校五十週年記念祝典には宮田君は元気のいい姿を見せた。其の前夜には林君邸に招かれ，井上，石倉両先生並に蒲生，甲斐両君等と大いに歓談せられた。翌二十日には稀に見る好天気に恵まれ，千余名の参会者を迎へて盛大なる式典が行はれた。顔の広い宮田君は此の広い式場内でアチラコチラ飛び廻って久闊を叙するに忙しかった。恐らく此の時に宮田君と会談した諸君の中，未だ其の死を知らない方が多数あるのではあるまいかと思う。其の夜は別所温泉玉屋に製糸科二期生の会合を持ったが，其の中で宮田君は最も若く最も元気で一同に対し君独特の長寿法を説き，若返りの体操を実演教授する有様であった。明年は夫婦揃って世界一週するため既に飛行機も契約済みだと言って居た。此の元気旺盛な宮田君と明秋神戸での再会を堅く約して，別れて後僅か一ケ月，突如として其の訃報に接するとは誰が驚かざるを得んやだ。

思えば大正四年上田を出てからの宮田君は実に波乱万丈の生涯であった。茂木合名紐育支店にいた君は，第一に世界大戦後の恐慌による茂木の没落により帰朝の船賃にさえ窮する破目に陥った。大正十二年関東大震災には家財を全焼したのみならず最愛の長女をも失うの悲運に泣いた。糸価安定のための半官半民の特殊会社帝蚕に入って漸やく安定し初めた。原合名に転じてよりは其の誠実と手腕とが認められトントン調子になって，終戦を迎えた時には副支配人になっていた。戦後財閥解体の至高命令に原合名も亦四分五裂して数多くの分散新会社を設立するに至り，宮田君は藤岡建材工業株式会社の社長となり富源産業の専務取締役を兼ね，その上，松代の製糸会社，名古屋の硝子会社等々数社の重役を兼務することとなった。先年拙宅へ立寄られた時には所謂三等重役に過ぎぬと自からは謙遜しておられたが，兎に角東奔西走席の温まる所を知らぬ多忙振りで，僕の病弱蟄居をあわれんで呉れた程であった。

君の四人の子女は既に成人，各々その処を得て所謂後顧の憂はないが近く茅ケ崎に新居を構築して金婚式を挙げる予定であったがその式の前に待望の世界漫遊もたまずして急逝した事は君唯一の心残りであっただろう。同期生四十名中今なお赫灼たるは十名内外。茲に宮田君を失い再びその英姿に接し得ざるを想えば同期生一同齒の抜け行く淋しさを覚え，誠に悲嘆痛惜に堪えぬ。謹しんで君の霊に合掌しその冥福を祈る次第である。

第4回目カツプル・クラス会

6月17日（土）長野県諏訪市富貴の湯で毎年一回づつやるカップル・クラス会を開いた。

千葉からは宮本静雄君夫妻，東京からは浜香三君夫妻と次男の3名，それに碓氷茂とその4女（病気だった妻の代理）



地元の幹事小松忠一郎君夫妻の4家族が参加した。

この会合にはいつも出席を欠かしたことのない香山清和君夫妻が不参だったが同君は会合直前急性盲腸炎で入院手術を受けたためだった。

一同富貴の湯温泉で一泊し，翌日全員揃って霧が峯高原を散策して高原の霊気を満喫し午後3時頃この高原で解散し思い思いに帰途についた。

この会合は毎年一回，春行うこととし幹事は廻り持ち，幹事の案に従って行動することになっている。

第一回は別所温泉花屋で，第二回は千葉県船橋のヘルス・センターで，第三回は群馬県磯部温泉で，それから本年は諏訪市というわけである。来春は幹事が浜君で，千葉の海岸で巣巻（すまき）を体験しながらのクラス会の予定である。

（碓氷記）

（写真後列左から碓氷君，浜君，宮本君小松君，前列左から宮本夫人，浜夫人小松夫人，碓氷君令嬢とお友達）

千曲会諏訪支会総会

7月28日，34度を越える日中の暑さも薄暮となって諏訪の湖上を吹き渡ってくる涼風に一息つく頃，諏訪支会の常会場下諏訪町はうらかめやに於て，折柄岡谷製糸試験所にて開催中の製糸夏期大学の講師として来諏された本部の荻原理事長先生，神栄生糸の塩田先輩，昭栄製糸の松野先輩の歓迎の意もあって急拠開かれた。そのためか出席者は18名諏訪支会としては稍不本意な人数ではあった。詳細な事務報告等は次回秋の総会に行う事にして簡単な2，3の挨拶の後直ちに懇親会に入った。出席者はさすがに蚕糸関係者が多いが今を時めく電気精密工業に又証券業に木工業にそして功なり名遂げての悠々自適と御多分にもれずここも千差万別飲む程に酔う程に夫々の活躍の分野より景気のよい話が続出する。先輩は後輩を引き立て気合を入れ，後輩は先輩の益々の御健斗を祝し且つ自重を願い，何時果てるともなく宴は続いていく。

午後10時過ぎ支会員相互の連絡を一層密にして次回には更に多くの出席者を期待しそして再会を約しつつ会を閉じた。

（村山記）

当日の出席者

荻原理事長	（糸12）
塩田　健介	（糸11）
松野　輝彦	（糸21）
小口　英一	（糸12）
手塚　政吾	（糸13）
由井　千幸	（糸16）
宮坂　栄	（糸18）
関　幸作	（糸18）
山本金之助	（糸20）
平沢和司男	（糸24）
小松　忠幸	（糸25）
小口　宗久	（糸25）
赤沼　喜雄	（蚕35）
小口　哲男	（蚕38）
小林　喜胤	（糸別1）
神田　春茂	（学蚕5）
島倉　宏光	（学糸7）
村山　穣助	（学糸1）

ニューヨーク便り

北条舒正

昨秋よりニューヨーク大学で研究中の北条助教授（本会理事）より繊維工業化学科の同研究室に次の様なお便りがあり別掲の井本正夫氏の在外研究ニュースも北条さんからの御連絡であります。

拝啓当地も暑い日が続いています。そちらは如何ですか。夏休みに入って大学も静かになったことでしょう。

大平先生は元気になられましたか。1年延長しないかと皆にすすめられ，他の大学からも話があり，そちらの方が面白そうでしたが，上田の事を考えると勝手ばかりも出来ないので，3ケ月延長なんか，しみたれたことを云わずに，きっぱり1年で帰るつもりでいます。

帰国は船で大平洋を渡りたいと思います。まだ旅行社の方から正式な知らせがないので期日は判りませんが10月14～15日頃横浜に着くのではないかと思います。

アメリカでは小学校から大学まで6月末頃から夏休みに入って，ロングアイランドの海岸線は海水浴でにぎわっています。朝から夜まで良く出かけると全く感心します。老人をのぞき皆ショートをはき日本からのゴムゾーリをはいて歩いています。

サンマータイムですので21時頃迄明るく夕方にはホタルが沢山飛んでいます。夕方はマリをつれて近くの道を歩いています。街路樹が大きくてとてもよい。

マリはジェスチャー入りの英語でよくいっております，もう1年もいたら我々よりもその方は上手になりそうです。

では近況まで　まだ暑いので皆様ご大切に　(1961.7.6)

井本正夫氏(学化3)在外研究の旅に

日本オイルシール工業株式会社勤務の井本正夫氏は一年間社用でゴムパッキングの将来の動向等を知るため，ヨーロッパーの規模をもつCarl Freudenbergの研究所において研究中である。

飯島南海夫氏理学博士授与さる

信州大学助教授教育学部地学教室の飯島南海夫氏（化2卒）はかねて提出中だった主論文"フォッサ・マグナ東部の火山層序学的ならびに岩石学的研究"が昭和36年3月8日東北大学教授会を通過し5月26日付理学博士の栄誉を授与された

倉沢恒夫氏学位論文通過

宮城県伊具蚕業指導所長倉沢恒夫氏（蚕21回）はかねて提出中の研究論文"家蚕絹糸の水分生理に関する研究"は東京農業大学教授会を通過農学博士の栄を授与されることになった。

母校ニュース

信州大学事務局長の更迭

8月1日付文部省発令によって信州大学事務局長宮内昌四郎氏は新潟大学事務局長に栄転され，信州大学事務局長には愛媛大学事務局長杉田憲一氏が新任された。

本学部の改組拡充実現に大きな貢献をされた宮内前局長は8月7日離任の挨拶に来学，学部教職員有志の送別会が催された。

杉田新局長は8月17日新任の挨拶に来学された。

池尾健一先生助教授に昇任

本学部一般教育部池尾健一講師は7月1日付信州大学助教授に昇任された。先生は哲学，独逸語を担当している。

川合亨氏技術員に

技能員の川合亨氏は4月1日付技術員に配置換となった，学生の電気実習補助を受持っておる。

鈴木恵助教授アメリカへ留学

紡織学科の鈴木恵助教授はアメリカ，マサチュセッツ工科大学において繊維工学研究のため9月15日から1ケ年間留学されることになった。8月17日第一会議室において学内教官有志の壮行会が催された。

横井・北条助教授帰国予定

ミシガン大学において研究中であった（一般教育部化学担当）横井政時助教授は9月上旬帰朝し9月10日頃から本学部に出勤される旨連絡があった。

又ニューヨーク大学において昨秋来留学研究中の北条舒正助教授は10月中旬帰朝の予定連絡があった。

学生後援会理事会総会開催

8月5日午後2時より学部第2会議室において学生後援会理事会を，つづいて総会が開催された。総会は浦生副会長挨拶（会長欠席）に始まり，小泉学部長挨拶次に今井厚生補導係長の事業報告のあと次の議題について協議した。

1．昭和35年度決算について
2．昭和36年度予算について
3．役員改選について
4．その他

なお36年度役員次のとおり決定した

（敬称略）

会　長	井上柳梧	
副会長	結城朝恭	
常任理事	白井美明	
理　事	山崎　寿	堀込良作
	西川理助	宮沢茂樹
	後藤正市	池田通夫
	近藤岩司	松井辰雄
監　事	大田　元	島田林助
	中村猪三	

池の平へレクリエション

学内各学科で催す年一度の慰安旅行は日頃の研究室から開放されて，すでに農学科の（蚕友会）の佐渡巡り，化学工業学科（繊化会）の富士五湖巡り，紡織工学科（糸友会）の仙台松島への行楽もすみ，8月26日27日学内事務職員の親和会が池の平にレクリエションを催した。

本会記事

笠原正巳氏帰国

第8回ロンドン国際絹業大会に出席，欧州各地の繊維絹業を視察して7月13日羽田着の笠原正巳理事は8月1日帰国挨拶に来会。記念にハンブルグ，アスター湖風景額を本会に寄贈された。

編集委員会開催

8月8日，8月19日の2回編集委員会が開催され編集方針等の打合せをした。

学外会員からの寄稿を多くすること，支会記は必ず寄せられるよう取り計うこと。

会報郵送料の値上に伴う発行費負担増加を協賛広告を得ることによってスムーズに運営されるようにすること。

学内理事会開催

8月11日学内理事会が開催された主な協議事項は

1．針塚先生追想録の刊行について，寄稿せられた会員の現況報告があり，篤志寄付については代表委員名でお願いすることになった。
2．学部改新期同盟会の募金委員会について
荻原理事長と期成同盟会事務局長毋袋良平氏に一任し決定したことは，募金運動は順調に進んでおるが今後目標達成には余程の努力がいるのでこの運動に本会から御依頼の連絡のあった場合は理事におかれては御多用中恐縮であるが出来るだけ御援助願いたい。

蚕糸業問題研究会開催

上田繊維科学振興会の主催で9月2日正午より学部会議室で蚕糸業問題に関する研究会が催される。尚当日は小山邦太郎氏の蚕糸業問題に関する講演及び笠原正巳氏の国際絹業大会の報告講演もある予定である。

会員動静

小林 啓介	蚕4	東京	東京都練馬区豊玉北5丁目29	
石坂 茂	農3	東京	有限会社マルヤス石坂硝子店 電東京（872）1.209（住前の通り）	
鈴木 玄九	糸18	兵庫	神戸市東灘区本山町森北ノ町29の[illegible]（勤前の通り）	
倉沢 恒夫	蚕21	宮城	宮城県伊具蚕業指導所長（宮城県伊具郡角田町）（住前の通り）	
吉平 善蔵	学紡7	東京	東京都杉並区東荻町18旭化成荻窪寮	
柿沢 和英	紡19	静岡	帝国繊維（株）磐田工場（静岡県磐田市天竜735）	
若林 吾郎	学化9	近畿	大阪府寝屋川市仁和寺高分子化学室（勤前の通り）	
松沢 宗一	農4	上小	上田市愛宕町4.012（勤前の通り）	
井田 智	蚕35	東京	片倉工業（株）蚕業研究所（東京都八王寺市椚原町610）	
中村治三郎	紡10	更埴	松代合成繊維燃糸加工有限会社（長野県松代町字田町1009）	
宮下 久吉	蚕32	東京	農林省蚕糸局技術改良課普及計画係長（東京都千代田区霞ヶ関2ノ1）	
望月 政明	蚕31	東京	農林省農林水産技術会議事務局研究調査官室（東京都千代田区霞ヶ関2ノ1）	
清水 紀元	学蚕3	北信	長野県蚕業試験場（長野市岡田町）	
橋本 和夫	紡6	近畿	大和紡糸株式会社（奈良県桜井市大字忍阪35）	
前田 益蔵	糸10	近畿	鈴屋商事株式会社（大阪市東区唐物町1の3 電26局1.151～1.155）（住）大阪市都島区大東町3都島住宅6の407	
二木 典夫	紡16	岐阜	日本毛織（株）鵜沼工場（岐阜県稲葉郡鵜沼町）	
岩淵 修	学化6	東京	帝国人造絹糸（株）本社東京事務所（東京都中央区八重洲1の2の4）	
宮下 譲	学紡4	東京	（住）東京都葛飾区堀切町373中村方	
六川三恵子	学化8	東京	（旧姓高橋）東京都杉並区天沼3の791	
斎藤 監	糸16	安筑	片倉工業（株）松本製糸所長（松本市日の出町）	
柳沢 弥	学糸3	安筑	長野県蚕検定所調査研究部（松本市庄内町）（住）松本市埋橋町1.620 田中方	
中村 祥三	糸30	安筑	（旧姓松尾）穂高中学校（南安曇郡穂高町）（住）松本市県町2.234	
小林 茂	農1	飯高	綿内中学校（上高井郡若穂町）（住）前の通り	
小林 一恵	農3	上小	塩田中学校（長野県小県郡塩田町）（住）前の通り	
荒木 栄	糸29	北信	川端中学校（長野市）前の通り	
島津 幸久	糸36	上小	信越電線（株）（上田市常入）（住）上田市諏訪形511	
宮本 千秋	紡21	[illegible]	[illegible]自動車（株）専務（長野市中御所）	
浦野 和雄	学紡4	北信	長野郵政局（長野市）	
飯島 京子	糸別5	上小	笠原製糸（株）（上田市常入）	
小林 達世	教6	埼玉	日本シルク（株）松山工場（埼玉県東松山市）	
高遠 康代	糸別8	北信	北信生糸（株）（長野市中御所）	
塚田 長治	農2	上小	上小地方事務所（上田市前田町）	
茅野 光正	農5	諏訪	諏訪地方事務所	
塩場賀喜男	農2	北信	長野県庁農政課（長野市南県町）	
臼田 英信	農3	北信	長野県農業試験場（長野市中御所）	
小林小一郎	糸34	北信	農林省長野統計調査事務所（長野市）	
清水 伝二	農2	北信	長水地方事務所（長野市）	
関 順一	蚕17	北信	長野県庁開拓課（長野市南県町）	
鷹野三男人	農4	北信	長野県吉田高等学校鬼無里分校	
永野 裕貞	糸32	北信	長野県庁人事課（長野市県町）	
金井 清	学糸4	北信	長野県商工信用組合長野支店（長野市北石堂町）	
河合 厚	学化2	山陽	三菱レイヨン（株）（大竹市小方町）（住）大竹市玖波町中浜三菱レ中浜アパート	
東城 篤義	学化5	山陽	三菱ボンネル広島工場（大竹市小方町）	
宮沢 正彦	学紡3	山陽	三菱ボンネル広島工場（大浜市小方町）大竹市玖波町中竹三菱レ中浜アパート	
山崎 光寿	化9	山陽	三菱ボンネル広島工場（大竹市小方町）（住）大竹市大竹町栄町789	
唐木 華江	教7	山陰	日本レーヨン（株）米子工場（米子市旗ヶ崎）	
橋詰久栄子	糸別5	山陽	（旧姓武田）山口県岩国市今津214 若林方	
一之瀬和子	糸別5	上小	長野県小県郡真田町長407	
宮本志げ子	糸別2	上小	上田市材木町5ノ2（旧姓安藤）	
久保田貞親	学糸4	諏訪	クラウン光機（株）岡谷市川岸（住）岡谷市本町2丁目山せん方	



信州みやげに
信州
武田味噌
電話（上田）2280
2281

ORGAN NEEDLE
オルガンミシン針
長野県小県郡塩田町
株式会社 増島製針所
TEL 塩田650

市川 喜久	学化 8	安 筑	長野県繊維工業試験場（松本市柴町）
柳原 彰一	糸37	北 信	信濃毎日新聞社本社（長野市）
中野 国雄	糸36	飯 高	丸山電子工業（株）工場長（須坂市西横町）（住）前の通り
岡村 保	蚕別 4	埼 玉	片倉ハドソン靴下（株）（大宮市大宮184）
諏訪幾久男	糸28	南佐久	野沢公共職業安定所（長野県佐久市野沢町）
木内 玄昭	学蚕 6	諏 訪	四賀農業協同組合（諏訪市）
友野 正路	蚕16	南佐久	長野県臼田高等学校（長野県佐久市臼田町）
田沢 輝雄	蚕23	更 埴	戸倉中学校（長野県戸倉町）（住）前の通り
大久保昭三	蚕37	更 埴	塩崎中学校（篠之井市塩崎）
山崎袈裟恵	蚕36	更 埴	塩崎中学校（篠之井市塩崎）（住）前の通り
馬場 論	学化 9	福 島	呉羽化成（株）錦工場（福島県勿来市錦町堰下41
土谷 博	紡30	越 佐	日東紡績株式会社新潟工場
中島 和子	教 3	北 信	長野市岡田町15
池久すず子	教 8	上 小	（旧姓上原）上田市木町
今井たけじ	教 8	北佐久	（旧姓柳沢）南佐久郡南牧村海の口
西沢 重光	蚕17	北 信	長野県長水地方事務所
水出 真一	農 1	更 埴	長野県更級地方事務所（篠之井市）
宮本 真男	農 1	北 信	長野県庁労政課（長野市南県町）
宮沢 孝雄	農 1	北 信	長野県庁文書公報課（長野市南県町）
斎藤 浩	農 4	北 信	長野県人事委員会事務局（長野市南県町）

50周年記念事業募金領収報告（36. 8. 22. 現在）

東京支会
3,500円 中島 藤治（糸26）
1,000円 佐藤 金六（糸 5）
那須野博人（糸30）
1,000円 宮下 誠（学紡 4）
500円 清水 三郎（学紡 3）
越佐支会
5,000円 秋山 利夫（蚕24）
上小支会
1,000円 久保 幸（化 2）
中沢 貞夫（紡専）
河合 良一（学化 4）
太田 宏一（蚕別 5）
500円 竹内美智子（教 6）
北信支会
2,000円 岡田 益雄（蚕25）
1,000円 深井 真澄（農 2）
金井 清（学糸 4）
諏訪支会
4,000円 金野 厳保（糸12）
小計 26,500円
累計 5,860,105円

会費を納めて下さい

会報送料や物価値上りで本会の会計も困難しています。会費の納入は次の方法で至急納めて下さい。

○なるべく支会を通じて納めて下さい，この場合は支会活動費（通信費）として交付金を支会にさしあげます。
○直接本会に送金の場合は振替口座長野 6243又は東京 43341を御利用下さい。
○会費は25年より31年は毎年額200円，32年より36年は毎年額300円です。

「針塚先生追想錄」予約募集

頒価 500円～1000円。至急予約申し込み下さい。事業遂行上是非とも知りたいと思います。

追想錄原稿追加募集

400 字詰原稿用紙（縦書）6 枚前後まで。どなたでも結構です。至急お寄せ下さい。

篤志寄付について

計画的な募金はいたしませんが，心からなる篤志寄付は歓迎すべきことです。追想録がなるべくひろく頒布出来るように，またこの事業がスムースに運ぶように篤志の御援助を願います。

上田市信大繊維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊行委員会

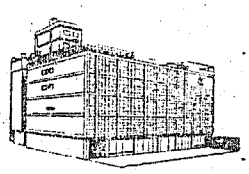
編集室より

暑さも峠を越し生気を覚える 9 月となりました。学内は夏休みもすんで学生が見え賑かになりました。この学期はすべてによいシーズンです充分活用して行きたいものである。

編集委員　小林 尚一　香山 清和
西村 善次　柳沢 幸男　一之瀬匡興
小山 定　大屋 正尚　白井 要範

信和紡績株式会社
取締役社長 馬場友清
長野県小県郡塩田町大字八木沢
電話（塩田）630番

銘酒
和田竜
和田 晋（糸12卒）
上田市鎌原 TEL 上田 461


皆様の百貨店
上田・中央 ほてい屋

特許・実用新案・意匠・商標
出願・訴訟・鑑定
浜特許事務所
東京都芝新橋 1 の 20
堤第一ビル 四階
東京 (591) —0764・0765
弁理士 浜 香三
弁護士 中 猪之助